

2026 年 10 月 29 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 デ ジ タ ル プ ラ ス
 住 所 東 京 都 渋 谷 区 元 代 々 木 町 3 0 番 1 3 号
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 菊 池 誠 晃
 (コード番号：3691 東証グロース市場)
 問 い 合 っ せ 先 取 締 役 C F O 加 藤 涼
 TEL. 03-5465-0690

2027 年 9 月期 連結業績予想及び株主優待制度の拡充に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027 年 9 月期(2026 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日)の連結業績予想を決定するとともに、株主優待制度の拡充を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、株主優待制度のうち追加還元の内容については、法的整理を経たうえで改めて決定し、お知らせいたします。

本業績予想は、2026 年 11 月 13 日に公表予定の 2026 年 9 月期決算短信に先立ち公表するものです。

I. 2027 年 9 月期 連結業績予想

1. 2027 年 9 月期 通期連結業績予想(2026 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)	売上収益	還元前 営業利益	営業利益	税引前 利益	親会社の所有 者に帰属 する当期 純利益	基本的 1 株当たり 当期純利益
2027 年 9 月期予想(A)	2,750	375	300	—	—	—
2026 年 9 月期予想(B)	1,699	104	14	—	—	—
増 減 額 (A－B)	1,051	271	286	—	—	—
増減率(%)	61.9	260.6	2,042.9	—	—	—

※1) 2026 年 9 月期の数値は、本日公表の「2026 年 9 月期 通期連結業績予想の開示及び減損損失の計上に関するお知らせ」に記載の予想値です。

※2) 還元前営業利益は、営業利益に株主還元に係る費用を加えた指標です。

2. 業績予想の前提及び考え方

当社グループは、2027 年 9 月期の流通総額 550 億円、2028 年 9 月期の流通総額 1,000 億円を目指しております。2027 年 9 月期の業績予想は、これまでの流通拡大期から、粗利・営業利益の拡

大期へ移行する年と位置づけ、次の考え方に基づき業績予想を策定しております。

(1) 売上収益：流通総額の拡大による増収

当社の売上収益は、デジタルギフト®の流通に連動する手数料等で構成されており、流通総額の成長が売上収益の成長につながる構造です。流通総額は26 四半期連続で成長しており、2026 年9 月期は、前期の約130 億円から約2.5 倍の約320 億円となり、期初予想の250 億円を大きく上回りました。

2027 年9 月期は、取引規模の大きい顧客との関係を領域横断で深めて取引を拡大するとともに、領域ごとの専門性を生かして新規導入企業の獲得を進め、流通総額は約1.7 倍の550 億円を見込んでおります。売上収益は、流通総額の成長に連動し、約1.6 倍の2,750 百万円(前期比61.9%増)を見込んでおります。

なお、株主優待領域は、基準日の2～3 か月後に流通が発生する特徴があるため、第1 四半期の流通総額の伸びは他の四半期に比べ緩やかになる見込みです。

(2) 営業利益：流通粗利率の改善と下期の流通拡大

・2026 年9 月期の着地

2026 年9 月期は、流通総額が大きく拡大した一方、流通粗利率の改善の遅れや先行投資により、減損前営業利益は79 百万円にとどまりました。詳細は、本日公表の「2026 年9 月期 通期連結業績予想の開示及び減損損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおりです。

・粗利改善の方向性

2027 年9 月期は、上期を流通の安定成長と流通粗利率の改善に取り組む期間と位置づけ、下期に流通の拡大を図ります。上期は、流通規模の拡大を背景に、受取先手数料の見直しや各種受取先との仕入条件の改善を進めております。一部の取引先では既に適用を開始しており、第1 四半期から第2 四半期にかけて効果が発現する見込みです。加えて、他領域に比べ流通粗利率の高い株主優待領域の拡大により、流通総額の伸びを上回る利益の伸びを見込んでおります。

・費用(販売費及び一般管理費)の考え方

下期の流通拡大を見据え、成長投資は継続いたします。昨今のセキュリティを取り巻く環境を踏まえ、2026 年9 月期に実施したセキュリティ・インフラの基盤強化への投資を継続するほか、直近の大手企業との取引の加速を受け、2028 年9 月期の流通総額1,000 億円の達成に向けた組織基盤の構築として人材採用を進めてまいります。還元前営業利益は、成長投資を優先し、その費用を十分に織り込んだうえで375 百万円、営業利益は300 百万円を見込んでおります。

(3) 株主優待費用の織り込み

なお、下記Ⅱ. の拡充後の制度に係るものを含め、株主優待費用として2027 年9 月期の業績予想に計上されております。

II. 株主優待制度の拡充

1. 変更の理由

当社は、2025 年 12 月 3 日にシェア型株主優待(優待総額 3,000 万円)を導入いたしました。このたび、次の 3 点を目的として、2028 年 3 月末日を基準日とする株主優待より制度を拡充いたします。

(1) 新たな株主様にご参加いただきやすい制度へ

株主の皆様のご支援により、当社株価は順調に推移しております。新たな株主様にもご参加いただきやすいよう、対象を 700 株以上から 400 株以上に広げます。

(2) 追加還元の拡充

当社は、拡大した流通総額を利益の成長につなげていく段階に入ります。400 株以上の株主様全員に対する優待総額 3,000 万円を維持したうえで、700 株以上の株主様へ向けた追加還元の導入に向けて準備を進めております。中長期にわたり当社とともに歩んでいただける株主様に、より魅力を感じていただける制度とすることを目指しており、金額や施策の内容は法的整理を経たうえで改めてお知らせいたします。

(3) 中長期で保有いただける、分かりやすい制度へ

継続保有の条件を設け、長期保有株主優待をこの条件に一本化いたします。あわせて NFT ギフトを廃止し、10 年にわたり保有いただいた株主様へ、御礼としてデジタルギフトを贈呈する形に改めます。

2. シェア型優待の変更内容

項目	変更前(2027 年 3 月末基準)	変更後(2028 年 3 月末基準以降)	
優待総額	3,000 万円に固定	3,000 万円+追加還元 (法的整理中。内容は改めてお知らせします)	
400 株未満	対象外	対象外	
400~699 株	対象外	3,000 万円	追加還元対象外
700 株以上	優待還元額を 3,000 万円に固定 対象株主様の人数で分配		追加還元対象
継続保有条件	条件なし	期末(9 月末)と基準日(3 月末)の両方で、 対象となる株式数以上を保有(※4)	

※3) 長期保有株主優待・NFT ギフト・代表との 1on1 ランチの見直しは 4. に記載しています。

※4) 2028 年 3 月末日を基準日とする場合、2027 年 9 月末日と 2028 年 3 月末日の両方の株主名簿に、同一の株主番号で 400 株以上(追加枠は 700 株以上)の記載又は記録がある株主様が対象となります。

・業績予想を前提とした場合の優待利回り(試算)

2027 年 9 月期の業績予想では、還元前営業利益 375 百万円と営業利益 300 百万円の差額である 75 百万円を、株主還元に係る費用として織り込んでおります。業績予想どおりに推移し、この 75 百万円の全額を 2028 年 3 月末日を基準日とするシェア型優待(優待総額 3,000 万円及び追加還元)に充てたと仮定した場合、2026 年 9 月末時点の株主数(400 株以上: 790 名、うち 700 株以上: 635

名)で試算すると、結果として700株以上の株主様の優待利回りは10%を上回る水準となります。

項目(計算式)	400～699株	700株以上
①3,000万円部分 3,000万円÷790名(400株以上)	37,975円	37,975円
②追加還元部分 (7,500万円－3,000万円)÷635名(700株以上)	—	70,866円
③1人当たりの受取額 ①＋②	37,975円	108,841円
④保有株式の時価 1,487円×保有株式数(400株／700株)	594,800円	1,040,900円
⑤優待利回り ③÷④	6.4%	10.5%

※5)本試算は、業績予想の数値をもとに結果として算出される水準をお示ししたものであり、業績予想の達成を優待実施の条件とするものではありません。追加還元の内容は法的整理を経たうえで決定するため、実際の受取額及び優待利回りは本試算と異なる可能性があり、将来の優待額・利回りを保証するものではありません。優待利回りは、2026年10月28日の当社株式の終値(1,487円)に保有株式数(400株又は700株)を乗じた金額に対する、1人当たりの受取額の割合です。

・2028年3月末日を基準日とする場合のスケジュール

時期	内容	対象となる株主様の条件
2027年9月末日	2027年9月期の終了(期末)	400株以上 (追加枠は700株以上)を保有
2028年3月末日	基準日	引き続き同じ株式数以上を保有
2028年6月頃	優待の配布	—
2028年6月頃	優待の配布	—

3. 既存の優待の見直し

変革の時期を共に乗り越えてくださった株主様への感謝を込めて、既存の優待を次のとおり見直します。

制度	変更前(2027年3月末基準まで)	変更後(2028年3月末基準以降)
長期保有株主優待	200株以上・2年以上保有の株主様に500円分を贈呈	廃止し、シェア型優待の継続保有条件(期末(9月末)と基準日(3月末)の両方で保有)に一本化
NFTギフト	200株以上の株主様へ贈呈	廃止し、200株以上を10年にわたり保有いただいた株主様へ、その御礼

		としてデジタルギフト®を贈呈
代表との 1on1 ランチ	上場直後から保有いただいている 株主様を対象に実施	既の開示のとおり、2027 年 3 月の 実施をもって終了

- ・10 年にわたり保有いただいた御礼としてのデジタルギフト®

NFT ギフトに代わり、200 株(2 単位)以上を 10 年にわたり継続保有いただいた株主様へ、デジタルギフト®を贈呈いたします。PIVOT 前後の厳しい時期に投資いただいた株主様への感謝を含めたものです。贈呈額は保有株式数のレンジに応じて割り振る予定です。詳細は改めてお知らせいたします。

4. 今後の見通し

本変更による優待費用は、株主優待費用として 2027 年 9 月期の販売費及び一般管理費へ計上する予定です。追加還元の内容は、法的整理の完了後、速やかに開示いたします。その他、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、本日別途「2026 年 9 月期 連結業績予想の開示に関するお知らせ」を公表しております。

以 上